

# Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



O022-P18

会場:コンベンションホール

時間:5月23日 16:15-18:45

## 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの現況 教育普及活動を中心に Current state of the Japan Geopark "Dinosaur Valley, Fukui Katsuyama Geo-park"-Mainly educational programs and activities-

水上 実喜夫<sup>1</sup>, 畑中 健徳<sup>1</sup>, 木下 裕基<sup>1\*</sup>

Mikio Mizukami<sup>1</sup>, Takenori Hatanaka<sup>1</sup>, Hiroki Kinoshita<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 勝山市ジオパーク推進協議会

<sup>1</sup> Katsuyama City Geopark promotion confere

「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」は、平成21年10月に認定を受けたばかりの新しいジオパークだが、当ジオパークの中核施設でもある県立恐竜博物館を中心に、市内にある恐竜化石産地から得られた多数の恐竜化石の研究や展示が長年行われ、教育普及事業についても10年を超える実績がある。博物館の立地する「かつやま恐竜の森」においても、市やNPO法人が子供を対象に実施している「恐竜化石発掘体験」事業で、10年間に全国から5万人を超える参加があり、すでに市の看板事業の一つとして定着している。現在市役所内に設置されているジオパーク推進室では、このような活動を互いに有機的につなげ、さらに発展させるため、ジオサイトの整備、パンフレット等の作成のほか、一般市民を対象としたジオツアーやセミナーの開催、学校との連携講座を今年度から開始している。「発掘体験」事業の推進に当たっては、これまで多くの市民ボランティアに支えられてきた。ジオパークの認定をきっかけに市民意識が少しずつ高まりつつある一方で、ボランティアの高齢化など、事業を展開するための人材確保・育成に大きな課題を残している。また、新たなジオサイトの「発掘」や保全もこれからの課題である。

キーワード: ジオパーク, 化石, ジオツアー

Keywords: Geopark, Fossil, Geotour